

## 別添 4-2

### 11-2. 分担研究

厚生労働科学特別研究補助金

#### 地域での新型インフルエンザ対策の現状と対策推進に関する調査研究 分担研究報告書

介護施設での対応について

分担研究者 小坂 健 東北大学大学院歯学系研究科 国際歯科保健学分野 教授

介護施設における対応について検討した。特別養護老人ホームと高齢者認知症グループホームでの調査の結果から、高齢者介護施設における新型インフルエンザ対策について検討を行った。新型インフルエンザ対策については、良く理解している施設と新型インフルエンザについて理解が乏しい施設とがあること、情報の入手経路としては行政やマスメディアによるものが多いことが分かった。今後、これらのルートを通じて効果的な啓発活動が行われる必要があり、そのために、米国のように施設での対応についてのチェックリストや視覚的な教材などの作成が望まれる。

#### A 研究目的

新型インフルエンザ対策として、学校や医療機関における対策については、「新型インフルエンザ発生初期における早期対応戦略」などが公表されているが、介護施設における対応についてはこれまで厚生労働省の「高齢者介護施設における新型インフルエンザ対策等の手引き」のみである。2003年のSARSの流行時においてもカナダなどの介護施設でアウトブレイクが起きたことが報告されているが、虚弱な高齢者が集団で生活をしていながら医療体制の乏しい介護施設はアウトブレイクを考える上で大変重要な施設であると考えられる。そのため、この研究では介護施設におけるインフルエンザ及び新型インフルエンザ対策について、分担研究者が参加している介護施設における感染管理に関する調査のデータを用いて、現状を把握することを目的とする。

#### B 研究方法

分担研究者が属する2つの研究班において高齢者介護施設に対する感染症対策についての調査を行っており、その中で新型インフルエンザの取組についての調査をし、その結果について検討した。

- 1 平成18年度 厚生労働科学研究長寿科学総合研究「小規模な高齢者介護施設等における感染管理に関する研究」(主任研究者小坂健)の中で全国の高齢者認知症グループホームに対して新型インフルエンザ対策についての問を設定した。
- 2 平成18年度厚生労働省研究事業「特別養護老人ホームのケアの質の向上に関する調査研究」三菱総研において、全国の特別養護老人ホームに対して「高齢者介護施設における新型インフルエンザ対策等の手引き」の活用について尋ねた。

## C 研究結果

新型インフルエンザに関連した質問についての結果は以下の通りであった。

### 【高齢者認知症グループホーム】

①新型インフルエンザについて(複数回答可)  
N=679

- |                              |       |
|------------------------------|-------|
| 1. どのようなものはよくわからない           | 37.7% |
| 2. 高病原性鳥インフルエンザとの違いを理解している   | 25.0% |
| 3. 都道府県などの自治体の行動計画があるのを知っている | 29.5% |
| 4. 行動計画を読んだことがある             | 12.4% |
| 5. 新型インフルエンザ流行時の施設の対応策が出来ている | 6.3%  |

計 110.9%

②新型インフルエンザやその対応策について、どのように情報を得ていますか。

- |                        |       |
|------------------------|-------|
| 1. 市町村等や保健所など行政からの配布資料 | 60.2% |
| 2. 関連する介護事業者や医療機関から    | 26.1% |
| 3. 新聞やTV等のメディア         | 54.2% |
| 4. その他                 | 2.8%  |

計 143.3%

### 【特別養護老人ホーム】

高齢者介護施設における新型インフルエンザ対策等の手引きについて N=2,737 施設

- |                      |       |
|----------------------|-------|
| 1. 活用している            | 44.1% |
| 2. 手引きを知っているが活用していない | 25.0% |
| 3. 手引きがあることを知らなかった   | 15.6% |
| 4. その他               | 1.0%  |
| 5. 無回答               | 14.5% |

## D 考察

高齢者介護施設においては、インフルエンザやノロウイルスによる感染症の集団発生が数多く報告されており、感染症対策は大変重要な課題となっている。通常のインフルエンザ対策においてもほとんどの施設でインフルエンザのワクチン接種を行い、手洗いの励行など感染管理対策を行っている。新型インフルエンザについては、施設によって対応がかなり異なり、新型インフルエンザそのものについての理解していない施設から、地域での行動計画を熟知し、対応が出来ていると回答している施設など施設により対応が分かれた。また、情報の収集源としては、関係する介護施設や医療機関といったものよりも保健所等の行政機関、新聞やTV等のメディアからと回答した施設が半数以上を占めていることから、これらのルートを通じて、介護施設においても新型インフルエンザやその対応についても、広く周知されるようにすることが喫緊の課題であると考えられた。

## F 健康危険情報

なし

## G 論文発表

○小坂 健 介護保険制度と介護予防について 東北大学歯学雑誌 2006年 第25巻 1-6頁

○小坂 健 介護保険制度の課題と今後の展望 高

齡者歯科医療懇話会誌 2007 年 第 10 卷 1 号

13-18 頁

H 知的財産権の出願・登録状況

なし